【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【公表番号】特表2002-513768(P2002-513768A)
【公表日】平成14年5月14日(2002.5.14)
【出願番号】特願2000-546792(P2000-546792)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/70　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/395　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 3/10　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/22　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　31/70
Ａ６１Ｋ　39/395　　Ｄ
Ａ６１Ｋ　39/395　　Ｎ
Ａ６１Ｐ　 3/10
Ａ６１Ｐ　43/00　　１１１
Ａ６１Ｋ　37/02
Ａ６１Ｋ　37/24

【手続補正書】
【提出日】平成18年5月8日(2006.5.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　ＧＤＦ－８インヒビターを有効成分とする個体中のＧＬＵＴ４発現を増加するための医薬製剤。
【請求項２】　ＧＤＦ－８インヒビターを有効成分とする個体中のインスリン感受性および個体中の細胞によるグルコースの取り込みを増加するための医薬製剤。
【請求項３】　ＧＤＦ－８インヒビターを有効成分とする糖尿病を処置するための医薬製剤。
【請求項４】　ＧＤＦ－８インヒビターが抗体または抗体フラグメントである、請求項１ないし３のいずれか１項に記載の医薬製剤。
【請求項５】　ＧＤＦ－８インヒビターが、ＧＤＦ－８のペプチドフラグメント、ＧＤＦ－８の優性ネガティブ変異体、ＧＤＦ－８レセプターアンタゴニスト、非－ＧＤＦ－８ペプチド、アンチセンス核酸およびリボザイムから成る群から選択される、請求項１ないし３のいずれか１項に記載の医薬製剤。
【請求項６】　ＧＤＦ－８インヒビターが成熟ＧＤＦ－８タンパク質に由来する請求項１ないし３のいずれか１項に記載の医薬製剤。
【請求項７】　ＧＤＦ－８インヒビターがＧＤＦ－８GDF-8タンパク質のプロドメインに由来する請求項１ないし３のいずれか１項に記載の医薬製剤。
【請求項８】　インスリン感受性およびグルコースの取り込みを、ＧＬＵＴ４および

ＧＬＵＴ１から成る群から選択されるヘキソーストランスポーターの発現をモジュレートすることにより増加させる、請求項２に記載の医薬製剤。

【請求項９】　細胞が筋肉細胞またはその前駆体である、請求項２に記載の医薬製剤。

【請求項１０】　細胞が脂肪細胞またはその前駆体である、請求項２に記載の医薬製剤。

【請求項１１】　糖尿病がＩＩ型糖尿病である、請求項３に記載の医薬製剤。